



第14555号  
海員組合

自己管理  
そこから始まる  
安全管理

### 日比海事社会が一致協力して

フィリピン代表部 福岡 滋

#### 海外代表部短信

昨年11月にフィリピン代表部に着任して、はや一年が経過しました。この間にも日本商船隊に乗り組むフィリピン人船員の教育訓練・福利厚生活動として、日比海事社会の一致協力の下、さまざまな事業が展開されてきました。最近開催された式典の様相を含め、取り組みについて紹介したいと思います。

11月28日、MAAP(アジア太平洋海事大学)校内で、本組合から組合長、国際局長、ITFポリシーセクション専任部長が出席したほか、比国労働雇用省(DOLE)をはじめとする比国政府高官、IMMAJ・PJMC C会員船社など約150人が参列の下、式典が催された。

#### オカAMOSUP前委員長 長の銅像除幕式

はじめに永年にわたりフィリピン人船員の地位向上に努め、海事関係者のみならず多くの方に惜しまれつつ世界したAMOSUPのオカ前委員長の銅像除幕式が執り行われ、主要出席者による献花を行い、冥福を祈った。

#### 高級船員用教育訓練センターのオープニング・セレモニー

続いてSPE(船員雇用促進基金)の拠出を受け、船員のさらなる資質向上などを目的に建設した高級船員用教育訓練センターのオープニングを記念し、主要出席者によるリボンカット、安定運営を祈念するミサ、記念プレートの除幕式が行われた。

この後、MAAPのサントス校長が開会の辞を述べ式典が開始された。関係各位の来賓あいさつでは、世界各地で

運航する船舶の安全運航を維持するためには、優秀なフィリピン人の安定確保が必要であることが繰り返し述べられ、日比海事社会の友好をさらに深めて式典を終えた。

#### AMOSUPセイラズ ホーム2の起工式

AMOSUPはProvident Fund(退職基金)、WSPF(寡婦遺族年金基金)などの協約に基づく基金のみではなく、AMOSUP

#### ルール変われど厳し さ続く

大学生の就職活動

Q もうすぐ卒業・就職シーズン。最近の大学生の就職状況はどうなのかな?

A 依然として厳しい。厚生労働省の調査によると、今春卒業を予定する大学生の就職内定率は昨年10月1日時点で59.9%。過去2番目に低い数字だ。とりわけ短大女子学生では2割、専門学校生では4割の学生しか内定を得ていない。

Q 今年度から就職活動のルールが変わったと聞いたけれど?

A これまで大学3年生の10月から始まっていた就職活動が、今の3年生からは12月

組合員および家族が無料医療を受けることができるシーメンスホスピタル、15日間まで無料宿泊可能なセイラズホーム、給料時支払い可能なスパーマーケットなどの福祉事業を実施している。

このたびAMOSUPは、宿泊希望者が多数殺到しているセイラズホームの現状を踏まえ、福利厚生の充実のためAMOSUPセイラズホーム2を建築することを計画11月29日、マニラ市内のイントラムロスで、本組合から組合長、国際局長、ITFポリシーセクション専任部長が出席したほか、DOLEをはじめとする比国政府高官、ITF、IMMAJ・PJMC C会員船社、AMOSUP組合員など約100人が参列の下、起工式が行われた。

式典では司会者から工事概要が説明され、参列したAMOSUP組合員からは、福利厚生の充実を歓迎する拍手喝采(かっさい)が起きた。続いて工事の無事を祈念す

るミサ、主要出席者による献入れ式が行われた。来賓あいさつでは、船員および家族の福利厚生に貢献しているAMOSUPへの賛辞が表された。

現在、マニラ市内で日比船員社会の絆として日比船員社会の取り組みや日本商船隊について幅広く紹介することを目的に、JSU AMOSUPマリタイムミュージアム・スポーツコンプレックスの建設を進め、多数の海事関係者から一日も早い完成と運営開始を望む声が上がっている。

スタートと2カ月遅くなった。就活の長期・早期化で学業に支障が出ているとの批判を受けた企業側の措置だ。内定が出ないまま卒業する学生が少なくないことから、卒業後3年間は新卒扱いで応募を受け付ける動きも一部だが始まっている。

Q 今後は改善しそつ? A 企業が新卒採用に慎重なのは相変わらずで、期待できそつもない。学生の中には入学時から就職に有利なゼミを選ぶ人や、就活解禁前からインターンシップ(体験研修)やインターネット上の交流サイトで人事担当者にアピールする人もいて、競争は年々激化している。景気の先行き不安から大手に応募が殺到していることも事態に拍車を掛けており、学生からは、1回しか

チャンスのない新卒一括採用を見直して」という声が上がっている。

(連合通信から)

### わたしのついで

#### 札幌ドームへ

小樽市 高岡美千子(65) 昨年、日帰りバスツアーで札幌ドームを見学に行きました。今年には日本ハムの試合の応援に行きたいと思っています。稲葉が見たい!。(日本水産)